



Title	デザイン理論 74号 会報No.85
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2019, 74, p. 125-131
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/75326
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

平成 30 年度 第 3 回役員会 議事録

日時：平成 30 年 9 月 29 日（土）11 時 00 分～13 時 30 分

会場：倉敷市芸文館 201 会議室

出席者：

青木美保子，伊集院敬行，面矢慎介，川島洋一，高安啓介，滝口洋子，多田羅景太，
塚田章，藤田治彦，益岡了，村井陽平，三木順子，谷本尚子

オブザーバー：佐々木一泰

〔審議事項〕

議題 1. 2018 年度 11 月研究例会について

以下のように決定した。

会場：成安造形大学

日時：2018 年 12 月 1 日（土）

発表候補者：

- ・美馬智「障害者福祉における「ソーシャルアート」の意味再考
—デザインの視点から—」
- ・谷紀子「19 世紀アメリカのリフォームドレス運動について
—新聞『シビル』の記事から—」

議題 2. 2018 年度 2 月例会について

以下のように決定した。

会場：京都市立芸術大学

日時：2019 年 2 月 16 日（土）

発表申込者：

- ・村井陽平「三味線に関するプロダクトデザインからの考察
—道具と人との新たな関係の構築を目指して—」
- ・矢野節子「神坂雪佳『うた絵』について
—王朝美と近代の融合—」

議題 3. 2019 年度 5 月研究例会について

会場：未定。大阪での開催を検討したい。

発表者候補者：

- ・山本彩「ロンドンのポスターデザインに見る悲劇の表象の変遷」

議題 4. 第 60 回総会議事録の確認
一部修正の上、承認された。

議題 5. 第 61 回大会開催について

開催校：滋賀県立大学

日時：2019 年 8 月 8 日（木）・9 日（金）

会場：滋賀県立大学 交流センター A7 講義棟（仮）

作品発表（交流センターホワイエ）

懇親会 看護食堂ナシェリア

実行委員会メンバー 仮決定：

面矢慎介、佐々木一泰、今井美樹、島先京一、川島洋一

シンポジウムテーマ：

案として「地域デザイン」他

議題 6. 学会運営状況について

- ・毎日学術フォーラムの使い方について見直す。
- ・月 3 回メールは可能のため活用をお願いした。
- ・学会費の請求を密にする。
- ・経費削減のため、各種委員会 への協力依頼があった。
- ・名簿の管理をデータベースで管理する方法を事務局で考えることとなった。

議題 7. 60 周年記念事業について

①60 周年記念寄稿文について

- ・次年度の事業として考える。
- ・塚田章、藤田治彦、今井美樹、島先京一、谷本尚子をメンバーとしたワーキンググループが作られた。
- ・75 号（2020 年 1 月発行）を 60 周年記念号とする。
- ・入会されて 40 年以上の会員から数名（3 分の 2）を熟考のうえ寄稿依頼。
- ・『デザイン理論』の表紙のリニューアルも 75 号から。

②沿革（2009-2019）を掲載する。

議題 8. 藝術学関連学会連合シンポジウムのテーマについて

鈴木貞弘の提案「アマチュアの領分」。

議題 9. 『デザイン理論』のリニューアルについて

①ワーキンググループ決定

今井美樹委員、伊原久裕委員、吉羽一之委員、高安啓介委員

②表紙デザインについて

6 年間まとめて展開できる図案を募集。

③1 月末締め切り、メールで公募、2 月例会で 1 次投票、WG で検討後、5 月例会で決定。

④判型は、組見本を見て、現状維持。本文組の変更を検討し、承認された。

⑤会報について

- ・『デザイン理論』から独立させ、HP へ議事録が承認された時点でアップするのはどうか。
- ・メールをお使いいただいていない会員にはプリントしたものを郵送する方向で検討する。
- ・会報の HP への移行は総会で報告する。

議題 10. 一般会務報告前回議事録の承認
一部修正の上、承認された。

議題 11. 一般会務報告その他
学会賞選考委員会

2018 年度作品賞の選考結果の報告があり、承認された。

〔報告事項〕

1. 各種委員会報告

- ①国際交流委員会：ホームページ作成費についての報告があった。
- ②編集委員会：『デザイン理論』73 号の進捗状況について報告があった。
- ③学会賞選考委員会：2018 年度作品賞の選考結果の報告があった。

平成 30 年度 第 4 回役員会 議事録

日時：平成 30 年 12 月 1 日（土）

12 時 00 分～13 時 20 分、13 時 45 分～14 時 45 分

場所：成安造形大学 聚英館 2 階 大会議室

出席者：今井美樹、島先京一、高安啓介、滝口洋子、塚田章、並木誠士、藤田治彦、前崎信也、三木順子、山路正憲、加茂瑞穂、村井陽平、谷本尚子

〔審議事項〕

議題 1. 2019 年度 5 月研究例会について

会場：未定（嵯峨美術大学へ打診する）

日時：未定（5 月 11 日或いは 25 日）

発表候補者：

- ・山本 彩「ロンドンのポスターデザインに見る悲劇の表象の変遷」
- ・下出茉莉「迎田秋悦の創作活動における複製制作の意義」

議題 2. 第 60 回大会会計報告

今井美樹委員から報告があり、承認された。

議題 3. 分科会について

以下のような提案に対して意見交換がなされた。

《提案》

ウィリアム・モリス研究会（意匠学会デザイン史分科会）発表内容（各自 1 ページ程度の報告）を『デザイン理論』へ掲載する。

《意見交換》

- ・他学会の分科会活動を見ると、積極的な自立した活動が多く、HP への掲載と考えた方が良いのではないか。
 - ・デザイン理論としての水準をどの様に保つか。
 - ・例会、大会の発表とは別のものとすべき。分科会の専門性は保つべきだ。
 - ・分科会を活性化するのか良いと思う。被服分科会などの再開を計画して欲しい。
 - ・デザイン理論投稿要項の変更を考える必要がある。
 - ・分科会での発表も論文投稿可とするのはどうか。
 - ・分科会の位置づけについて、もう少し詰めるべきではないか。
 - ・主催を明記することで、シンポジウム扱いにすることも出来るのではないか。
 - ・会員全体に対して、投稿を受け付ける。
 - ・会員であれば、投稿を受け付けるという方向へシフトしては如何か。
 - ・意匠学会が主催する分科会も投稿を承認するのはどうか。
 - ・査読論文の希望もありうる。
- （休憩後に議論を再開することになった。）

議題 4. 2019 年度 11 月・2 月例会について

以下のように決定した。

11 月例会については、大阪芸術大学に当番校の依頼を試みる。

2 月例会については、近畿大学、または神戸方面の大学に役員が分担して依頼を試みる。

両例会とも、次回 2 月役員会での承認事項として行動する。

議題 5. 前回議事録の承認

承認された。

議題 6. 入退会希望者の承認

入会：山本史、萩原英子、富家大器

退会：川島智生、三田村哲哉

以上が、承認された。

議題 3 の続き

（発表者 1 人欠席のため時間を延長し、休憩後再開された。）

- ・分科会における発表者の論文投稿について

次回 2 月役員会での承認事項となるように、『デザイン理論』の投稿規定の見直しの取りまとめを行う。

- ・新たな分科会の立ち上げを推進する旨の呼びかけを事務局より行う（2 月役員会で新分科会が承認されることを目標とする）。
- ・新分科会が成立した場合には、ホームページにて披露し、分科会の発起人の責任

において運営する（ウェブサイトに登起人名とメールアドレスを明記）。

・12/15 に開催されるモリス研究会では「次回 2 月役員会にて、分科会での発表報告の掲載（論文投稿）の可否が承認される予定」と告知する（次回投稿締め切りの2019.1.15 には間に合わない）。

議題 7. 杉本清会員の大会発表不成立について

大会の発表当日、杉本会員は脳梗塞で意識不明のため連絡が取れなかった。会報の大会報告には「本人の事情により発表を辞退された」として記載することが承認された。

議題 8. 『デザイン理論』ページリニューアルについて

研究論文紙面レイアウトのリニューアル（41 文字 × 42 行、現行の文字数より 448 文字減）を、74 号より実施することが承認された。

〔報告事項〕

1. 各種委員会報告

①編集委員会：『デザイン理論』73 号編集中、来年 1 月に完成号を送付予定。（三木編集委員長）

②国際交流委員会：ACDHT アジア国際会議（2019.8.30-31、於九州産業大学）の募集開始に伴い、年内に一斉メールで発表申込を呼びかけたい。事務局へ一斉メールの準備依頼。（高安委員）

2. 藝術学関連学会連合委員会公開シンポジウムについて

2019.06.08、於 国立国際美術館 開催予定。テーマは「アマチュアの領分」。意匠学会からの発表者も募集中。（藤田副会長）

3. デザイン関連学会シンポジウムについて

2019.11.15、於慶応大学日吉キャンパス 開催。金曜日の開催に疑問視。翌 11.16-17 に「Design シンポジウム 2019」が別関連学会の主催で開催されることについて、幹事事務局（道具学会）に問い合わせる予定。（藤田副会長）

4. その他（『デザイン理論』60 周年特集の進捗について）

・歴代の役員担当者のリストアップが進行中。（塚田会長）

・過去 10 年の沿革を編集中。（今井委員）

平成 30 年度 第 5 回役員会 議事録

日時：平成 31 年 2 月 16 日（土）

12 時 00 分～13 時 50 分

場所：京都市立芸術大学 新研究棟 2F 共同ゼミ室

出席者：伊集院敬行、今井美樹、面矢慎介、大森正夫、高安啓介、近藤存志、吉田雅子、三木順子、加茂瑞穂、吉羽一之、滝口洋子、藤田治彦、益岡了、谷本尚子

〔審議事項〕

議題 1. 2019 年度 5 月研究例会について

以下のように決定した。

会場：嵯峨美術大学

日時：5月11日

発表候補者：

- ・山本 彩「ロンドンのポスターデザインに見る悲劇の表象の変遷」
- ・下出茉莉「迎田秋悦の創作活動における複製制作の意義」

議題2. 2019年度11月例会について

大阪大学で引き受け、担当は高安啓介会員。企画を考え、発表者の状況を考えて提案したい。

場合によっては、分科会と絡める可能性有り。

日時の候補は、11月9日、16日、30日。

議題3. 2019年度2月例会について

近畿大学にて開催することとなった。日時、発表者は未定。

議題4. 藝術学関連学会連合委員会報告、デザイン関連学会シンポジウムについて

・藝術学関連学会連合について

公開シンポジウム：2019年6月8日(土)大阪 国立国際美術館にて開催、テーマは「アマチュアの領分」意匠学会からは、趣旨説明を鈴木会員に願う。

・デザイン関連学会シンポジウムについて

2019年11月15日(金)慶応義塾大学日吉キャンパスにて開催。道具学会が主催。Design シンポジウム 2019 に協賛と返事する事となった。

議題5. 第61回大会関連について

滋賀県立大学の会場及び研究発表について説明された。

シンポジウムテーマ(仮)「地域とデザイン」

ギャラリーが広いので、作品発表を期待。

(今井会員が、発表要旨の書式を作成)

議題6. 『デザイン理論』表紙デザインについて

会報がWeb上にオープンになっているのは問題ではないか検討する必要がある。

表紙デザインについての投票は、大会時に役員会で行う事となった。

議題7. HP上の発表欠席者の要旨について

発表者名及びタイトルは残し、発表要旨を削除することとなった。

議題8. 入退会希望者の承認

入会：揚寧、佐藤悦子、小溝久美子、竹多亮子、蘆ユニア

退会：大久保恭子

以上が、承認された。

議題 9. 前回議事録の承認
承認された。

議題 10. その他

・ 60 周年特集記念号について

過去 10 年の会報について分量等、内容を検討中。(今井委員)

〔報告事項〕

1. 各種委員会報告

①編集委員：

・ デザイン史分科会（モリス研究会）の報告書としてはデザイン理論に掲載するのは難しいとの報告があった。次回の審議事項にすることとなった。

・ 研究報告が 2 本ある。査読無しだが、編集委員会の中で修正を求めることがある。

・ 投稿規定の「研究報告等」のカテゴリーを編集委員会で考えて行きたい。

②学会賞委員会：

・ 作品賞は決定している。論文賞は選考中。

・ 学会賞への推薦があがってきている。

③広報委員会

・ デザイン関連学会の内容を掲載している。

・ 会員への広報として、早い時期の 5 月・11 月・2 月・大会の内容決定が望まれる。

④国際交流委員会

アジア・デザイン史論国際会議の募集が延長されている。

2. 本部事務局

事務局の住所、連絡の変更が報告された。事務局メンバーの改組を計画中である。

会報担当連絡先

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35 京都女子大学家政学部生活造形学科 B415
青木美保子 宛 Tel：075-531-7169（研究室直通） E-mail：aokimih@kyoto-wu.ac.jp